



仙台三高

仙台三高PTA会報



●●目次●●

- ごあいさつ…………… P 2
- 各学年より…………… P 3
- PTA活動報告…………… P 3
- 学校行事あれこれ…………… P 4
- 三高思い出あれこれ…………… P 4
- 前期体育大会の様子…………… P 5
- 職員紹介…………… P 6

編集発行

宮城県仙台第三高等学校PTA事務局

〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷1丁目19番

TEL 022 (251) 1246 FAX 022 (251) 1247

印刷 創文印刷出版株式会社

題字 菊田奈穂 (48回生)

三高生の未来に寄せて

PTA会長 佐藤 慎也



秋の気配が日増しに感じられる季節となりました。皆様におかれましては、仙台三高PTA活動に対して日頃よりご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス禍の中、本格的な登校が可能になるまでお待ちいただきました。新入生ならびに保護者の皆さまに、改めて心よりご入学のお祝いを申し上げます。また同じように在宅での学習期間に不安を抱えながらも勉学に勤しみ、対面できずとも友だちと励ましあった在校生ならびに見守られていた保護者の皆さま、教職員の皆さまにも感謝申し上げます。

若い時代に出会った書物、人、出来事は、その後の人生において大きな財産になることがあります。その中で二つほど紹介したいことがあります。一つは「ライフサイクルの心理学」という



本です。この本では様々な職業の人たちへのインタビューを重ねながら、成人期を四季に分け、

直面する課題と、人としての役割の変化を示していました。青年期の勉学が20代から30代の人生に生きてくるのに対して、特に心に残ったのが、40代から60代前半が家族や社会のマネージメントを任せられ、運営に加わり、次世代に引き継ぐ時期だということ。このマネージメント力に繋がるのが勉学以外で培われる「文武両道」や「Team三高」という三高が掲げる考え方だと感じています。

二つ目は、若い時代に出会った仙台三高のOBであり、大学の後輩の言葉です。現在、産業界技術総合研究所で人間情報研究部門長として活躍している彼から示唆に富んだ話を伺いました。「技術開発とは、高密度化して捌けなくなった人類の営みを拡大していく都市型の営みで、災害や感染症は、その

都市型の営みを自然が否定しているプロセスかもしれない。Resilience（回復力）に必要なのは、そうした自然の声を聴くためにさらに大きな受容性を持った人間社会を再構築していくことなのだろう。」

東日本大震災や豪雨による災害、さらには新型コロナウイルス感染症など直面する困難な環境をどのように乗り越えていくのか、まさに仙台三高生が持つ未来の力に保護者の一人として期待したいと思います。

果報は待っていてもこない？

校長 佐々木克敬



日ごろから保護者の皆様には本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。また、今年度から本校が県高P連事務局校となり、校内に留まらないPTA活動にも積極的にご参加いただき心より感謝申し上げます。

今年はずけ月遅れとはなりましたが、生徒の活き活きした活動と清々しい声に戻ってきました。各種大会が中止となった3年生の心中を察することは難しいのですが、教員ともども一緒にあって、良い3月を迎えられるようにと頑張っています。

イギリスでは「チャンスを見つけれないときには、自分でつくれ」という言葉があるようです。日本の「果報は寝て待て」という言葉とは対照的です。チャンスは必ずしも来るものではありませんし、もし訪れたとしても何もせずにただ待ち続けることをしていたのでは、それを手に入れることはできないと思います。いくらチャンスが待っても、その時に当人に力や可能性がなければ、そ



のチャンスを生かすことはできません。よく言われる「自主性」「自発性」とは、チャンスを自分で取りに行く気持ちを指すのだと思います。

登校できなかった3ヶ月間、自分の選択で時間を自由に使うことができませんでした。おそらく、このような経験ができた学生は、これまでの日本では皆無だったかもしれない。まさに自分で考え、自分で行動する、それが結果につながっていることを実感し、「自主性」とは何かを再考した機会になったと考えています。

チャンスは必ず自分の行動のあとからついてくると考えて、自分の実力の向上に努めること、実力を高めていきチャンスと呼び込むことが大切だと思います。「果報」は起きて行動してこそ訪れるのではないのでしょうか。

ご家庭でも「やりなさい」は無論、「頑張れ」という言葉から、「その考えで大丈夫ですか」「今の行動で自分の目標に到達しますか」「期間内に終了できそうですか」と次に何をいつまでどのように行えば良いのか、具体的に考えるきっかけになる言葉に変えるのはどうでしょうか。

各学年より

市ボランティアとして活動し被災地の復興と現状を世界中の人々に伝えることにしていますがこのような状況となつてしまい残念でなりません。より良い活動ができるよう引き続き準備にあたります。制限の多い中で高校生活とはなりますが、一人ひとりが三高ライフでしか得ることのできない「何か」を手に入れられるよう願ってやみません。



第一学年委員長
熊谷真由美

五十八回生の高校生活の始まりは思い描いていたとは大きく異なるものとなりましたが、常に最善を模索して下さっている教職員の皆様に感謝申し上げます。

この夏、東京オリンピックで娘と都

ナウorネバー

たのに、思い描いた高校生活ではありませんでした。ただ、できなかったことをあげつらつても仕方ありません。非日常を経験しているからこそ、日常の大切さが分かるはず。いまはコロナ時代に生きる高校生とその親として、目の前のことをひとつずつクリアしていくしかありません。決して下を向かずに柔軟に。一緒にがんばりましょう。



第二学年委員長
川元 茂

この半年は、当たり前前にできていたことができなくなつて、ストレスが溜まつたことと思います。不安も不満もあつたでしょう。卒業式、入学式、歌唱指導、高校総体、エトセトラ。学校に慣れ、主力として活躍するはずだったのに、

下を向かずに柔軟に

そんな生活の中でも部活動や学校生活で多くの知識や友情、人間関係等の大切なものも得ました。そんな経験を大切に前向きな気持ちで、今、改めて自分の将来を考えてほしいと思つきました。こんな時だからこそそんな場面でもパニックや怒りを起こすことなく、平常心を保つことで、受験を乗り切つてほしいと思つきました。



第三学年委員長
正橋 裕美

三年生が三高で過ごす日々も残り少なくなつてきました。予想もしなかつた事態で、大切な学校行事や生活、部活動では文化部、運動部とも大会や試合が奪われました。失われたものは多く、将来にも不安を感じます。しかし、

平常心を保つて受験を乗りきる

PTA活動

エアコン設置

5月末から行われていたエアコン設置工事が無事終了し、7月22日から本格的に稼働が始まりました。梅雨の間は天候不順のため稼働する日は少なかったものの、梅雨明け後には真夏日になる日も多く、生徒たちは早速エアコンの恩恵に与っていました。勉強のための快適な環境を整えてくださった関係各所の皆様に感謝申し上げます。



ご案内

PTAフェスティバル 楽楽楽ホールで開催

「みやぎ高校PTAフェスティバル2020」開催のご案内

日時：令和2年10月6日(火) 13:00～
場所：仙台市太白区文化センター「楽楽楽ホール」
仙台市太白区長町5丁目3-2

今年度は三高が事務局校となっており、運営を担当します。役員一同、万全を期してがんばってきます！

学年総会



PTA各学年研修会の開催

新型コロナウイルスの影響で例年開催されていたPTA総会が中止となり、各学年総会が下記の日程にて開催されました。

- 1 学年 7月 4日(土) 午前
- 2 学年 7月11日(土) 午後
- 3 学年 7月 4日(土) 午後

当日はコロナ対策に留意しつつ、引き続き学級懇談会も開催されました。

来年度も多数の保護者の皆様の参加をお願いいたします。



全体研修会



9月26日(土)、4階大講義室にて、東北文化学園大学講師、心理学者の山川樹先生による講演会が行われました。コロナ禍の中で、精神的な安定を得て、自分を守るための「心の護身術」について、大変興味深いお話を伺いました。

校長先生祝辞：
リモートにてご挨拶頂きました



歌唱指導



歌唱指導を終えて
応援団有志 松岡 唯衣
押忍。
今年度の歌唱指導も正幹部不在という状況の中で、無事にやり遂げることができた。例年とは全く異なる状況に
応じ、規模を縮小したことで、指導内容もかなり削ることになった。我々応援団は、真の三高生とはどのような姿であるべきかを、四日間の指導を通して一年生に全力で伝えたい。一年生諸君にはこの経験を糧にして、学校生活を有意義に送ってほしい。

生徒会入会式



一年生諸君
歓迎します

よろしく
お願いします！

三高思い出あれこれ

仙台三高教諭 菅野 貴人 (32回生)



今年の夏は変な夏である。コロナ禍のうえ、なかなかカラリとした晴れ間もやって来ず、夏らしくない夏であった。しかしながら夏と言えば部活動の合宿である。

現在の校舎には宿泊できる施設がないため校内宿泊合宿は行っていないが、旧校舎には合宿所があった。歴史と味のある合宿所である。合宿に合わせて先輩から命令が飛ぶ。私は家からテレビを父の車で持ってくることとなった。友人は松島から電車で裸の扇風機を持ってきた。なんとも電車内はシュールな光景であっただろう。少しでも快適に過ごせるよう、様々な物品がかき集められ合宿が始まるのである。当時はおおらかな時代であったと今になって思う。競技の練習はもちろんあったが覚えていない。覚えているのは、皆で馬鹿をしたこと。夜中にプールに忍び込んだり、体育館でフットサルをし、同級生の眼鏡を壊したり、ミーティングと称してゲーム大会にいそんだり・・・。当然顧問の先生はいるのだが、顔を出すのは昼間のスイカの差し入れの時と、夜になってウイスキー片手に「人生」を語ってくる時だけであった。

合宿所は笑い声に溢れていたように思う。風呂が壊れて、旧消防学校に風呂をもらいに行ったことでさ良い思い出だ。

そんな合宿所は新校舎建設と共になくなってしまった。設備は変わったが変わらないものがある。それは生徒たちが活発に活動する声だ。これだけはいつまでも変わらないでほしいと思う。



～種目～

男子バレーボール、女子バレーボール
 サッカー、ソフトテニス
 ソフトボール、ポッチャ



令和2年度 職員紹介



- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|----------------|------------|-------------|--------------|----------------|---------------|
| 松原 啓
教諭 | 永井由佳
実習助手 | 米澤浩子
非常勤講師 | 高橋 牧
非常勤講師 | 江崎隆太郎
非常勤講師 | 堀込智之
非常勤講師 | 齋藤サレハス
非常勤講師 | 日下真幸
非常勤講師 | 北川莉奈
非常勤講師 | 山下 豊
非常勤講師 | | | | | | |
| John Lewis
ALT | 草 陽介
教諭 | 田中恵太
教諭 | 杉井星太
教諭 | 齋藤 真
教諭 | 中野 剛
教諭 | 三浦仁志
教諭 | 菅原佑介
教諭 | 黒崎陽介
非常勤講師 | 沢田憲郎
教諭 | 小沼 翼
教諭 | 根元 学
教諭 | 菅野貴人
教諭 | 伊藤啓之
教諭 | | |
| 角田善繁
教諭 | 佐藤利幸
教諭 | 佐々木淳一
教諭 | 松浦聡至
教諭 | 高橋 功
教諭 | 板橋 淳
教諭 | 菅井良夫
技師(庁務) | 越中谷英明
教諭 | 柏葉伸一
教諭 | 今野秀隆
主事 | 小野 薫
技師(庁務) | 西村吉史
教諭 | 岩手正浩
教諭 | 佐藤貴哉
実習助手 | 鈴木信之
教諭 | |
| 相澤知子
養護教諭 | 佐藤裕子
SSH事務員 | 曾根さおり
主査 | 勝又真妃恵
主任主査 | 佐藤敏恵
業務補助員 | 阿部汐里
教務補助員 | 伊藤美由妃
主任主査 | 佐々木遥子
教諭 | 早坂かつ枝
養護教諭 | 丹野詩穂
教諭 | 前田宏美
教諭 | 大學知子
教諭 | 佐々木美紀
教諭 | 油井玲美
教諭 | 山川奈帆美
非常勤講師 | |
| 伊藤福子
教諭 | 千葉美智雄
教諭 | 川口雅幸
教諭 | 佐々木久善
教諭 | 千葉英明
教諭 | 穀田浩美
主幹教諭 | 井上健一
教頭 | 佐々木克敬
校長 | 熊谷聡也
教頭 | 高橋良喜
副参事兼事務長 | 伊東秀輝
主幹教諭 | 上村 将
教諭 | 渡部 敦
教諭 | 柏 三恵
教諭 | 伊藤民一
教諭 | 村上尚子
養護事務員 |

編集後記

ご多用の中、原稿依頼にご協力賜りました校長先生はじめ諸先生方、役員の皆様に心より御礼申し上げます。



令和2年度広報委員

お知らせ

第44回全国高校総合文化祭(WEB SOUBUN)
吹奏楽部・自然科学部・放送部
出展映像配信中(10/31まで)ぜひ御覧ください!

WEB SOUBUN 特設サイトができました。
<https://www.websoubun.com/>

WEB SOUBUN 検索



WEB SOUBUN